

新潟市立結小学校  
令和7年6月18日号

## 令和7年度 結小学校運動会～5月24日(土)～

「正々堂々 燃え上がれ!一走入魂 ビクトリー!」のスローガンのもと、結小学校運動会が行われました。全校が一つになった全校ダンスに始まり、赤白に分かれての迫力のある応援合戦、練習の成果を出し切った徒競走や団体種目。子どもたちは、競技に、応援に、全力で臨みました。高学年は、係の仕事にも責任をもって取り組みました。子どもたちの一生懸命に頑張る姿がたくさん見られた、素晴らしい運動会となりました。今年度の結果は、優勝赤組、応援賞白組となりましたが、結果発表のあとも、教室に戻った後も、お互いの健闘を称え合う清々しい子どもたちでした。保護者の皆様の応援も、子どもたちの力になりました。たくさんのご声援、ありがとうございました。



全校ダンス



応援合戦



4年生 ダッシュ!綱引き!!



2年生 みんなでチャレンジ☆おみこしリレー



5年生 つなげ!友情のバトン!!



3年生 ぐるぐるタイフーン2025



1年生 リズムにのってチェッコリ玉入れ



5・6年生 わくわくすっぞ!元気玉!2025



6年生 つなげ!友情のバトン!!



盛り上がる応援席



優勝: 赤組

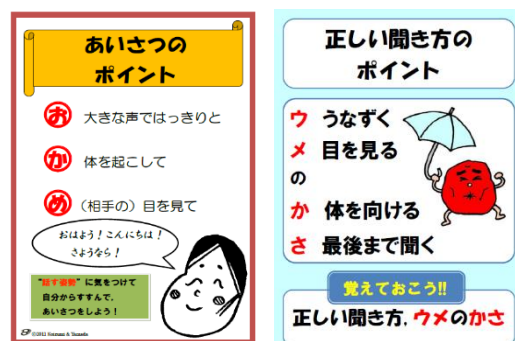
応援賞: 白組

# ピア・サポート活動紹介

結小学校では、子どもたちが社会性の基礎を身に付け、よりよい人間関係を築けるようにするためにピア・サポートプログラムに取り組んでいます。毎週木曜日のピア・サポートタイムに、よりよい人間関係を築くために必要な人のかかわり方を学習したり、学習したかかわり方を生かして人の役に立つ活動をしたりしています。これまでの活動をご紹介します。

## 1 あいさつ・上手な聞き方

よりよい人間関係は、よりよいあいさつや相手の話を聞くことから始まります。4,5月には「おかめ」や「うめのかさ」の合言葉を使ってあいさつや話の聞き方が上手になるように取り組んでいます。ピア・サポートタイムの時間にゲームなどをしながら練習し、合言葉でお互いのよいところを認め合っています。



## 2 非言語コミュニケーション

人とかかわるときには、どんなことに気を付けてかかわるとよいでしょうか。それは表情や声の調子などの非言語です。人は非言語から相手の気持ちや機嫌などを読み取っています。それも8割以上です。そう言われてみると確かに、不機嫌な顔と声で「ありがとう」と言われても、感謝されているとは感じません。そのことを学習した後で、友達の気持ちに合わせでかかわる練習をしました。

## 3 ペア学年でのサポート活動（学習支援活動）



結小学校では、縦割り班の中でも特に1・6年生、2・4年生、3・5年生がペア学年となっていて、行事や清掃などで協力して活動をしています。ペア学年でのサポート活動とは、ペア学年の下学年の学習や生活を上学年がサポートをする活動です。これまでは、上学年が下学年に算数の学習を教えたり、アサガオの種を入れる袋作りを手伝ったりするといった活動を行ってきました。サポート活動を行う前には一人一人が計画を立て、これまでのピア・サポートタイムで学習したことが使えるように準備をします。活動中はきちんと話を聞いたり、相手を認める言葉を使ったり、笑顔でかかわったりする姿がたくさん見られます。このような活動をきっかけに縦割り班清掃などでも自然に声が掛けられるようになり、よりよい人間関係がつけられています。

## 4 ひしのみハッピータイム（縦割り班遊びの時間）

ピア・サポートタイムに縦割り班でやりたい遊びを決めて楽しく遊ぶのが「ひしのみハッピータイム」です。遊びを決める時間には、班長を中心にやりたい遊びを出し合って、みんなが楽しめる遊びを決めていました。「1年生は何がしたい?」と聞いたり、「みんなこの遊びのやり方分かる?」と確認したりして話し合っていました。みんなのことを考えながらかかわる姿が素晴らしかったです。ひしのみハッピータイムの時間には、子どもたちの楽しそうな声があちこちから聞こえてきました。低学年の子にも分かるようにヒントを出してクイズをしたり、うまく進めなくても他の学年の子がフォローしてくれたりして、異学年で楽しく遊ぶにはどんなことに気を付けたらよいかを体験的に学ぶ機会となっています。



## 5 学力部との連携した話し合い活動の充実（主に高学年）

ひしのみハッピータイムの話し合いでは、各学年に意見を聞き、遊びを決めていました。しかし、最終的に多数決で決めてしまうことが多かったです。今年度は、目的意識をもって話し合いを進めるために、話し合い活動を充実させるための経験を積んでいきます。